

モンキアゲハ

Papilio helenus



種名

分類	アゲハチョウ科
----	---------

形態

前翅長 50～75mm。地色は黒色、後翅に大きな黄白色斑がある。シロオビアゲハと混同されることもあり、本種は大型で黄白色斑が大きく、帯状にならない。♀は♂より大型、後翅の赤色斑が発達する。

分布

本州(新潟県以南)、四国、九州、南西諸島(種子島、屋久島、沖縄諸島)。東北地方南部でも成虫の記録がある。八重山諸島には土着していない。

出現期

本州では 4～10 月にかけて、年 2～回の発生。春には少なく、秋には個体数が増える。越冬態は蛹。

生態

♀ は林縁、林道沿いに蝶道をつくり、湿地で吸水する。また、ミカン、クサギの花などで蜜を吸う。

食樹

ミカン科のカラスザンショウが主。

幼虫
(幼生期)

体長 60mm。黄緑色で、背面の黒帯が分離する。

出現時期

(月)	-	-	-	4	5	6	7	8	9	10	-	-
-----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	---	---

その他

参考文献：検索入門 渡辺康之著 チョウ